

## 報 告

◎ [第21回森林の市（もりのいち）に出展](#)◎ [講演会「森林整備と地域材利用の現状と展望－マスコミの視点－」が開催される](#)◎ **第21回森林の市（もりのいち）に出展**

平成16年5月22日（土）及び23日（日）の両日、東京都立代々木公園B地区（NHKホール隣）において、「豊かな森林の恵みに感謝」をテーマに第21回森林の市（主催：林野庁／森林の市実行委員会）が開催され、当所も出展参加しました。

両日とも時折小雨の降る曇り空という天気でしたが、多くの来場者があり、たいへん盛況でした。

森林総研ブースでは、測高器や輪尺を使って樹木の高さや幹の太さを実際に測ってもらう体験コーナーや、油性ボールペンのインク成分がシロアリのフェロモンに類似する性質を利用し、紙の上にボールペンで軌跡を描くとシロアリはその跡をたどる実験。いろいろな種類の木を同じ長さで切った木琴をたたいてもらって音の違いを比べてもらったり、世界一重い木・軽い木の実物展示を行いました。

当日の様子を写真で紹介します。



大人・子ども問わず道行く人が、いろいろな樹種でつくった木琴を、叩いたり触れたりしていました。



子どもたちに大好評だったシロアリのコーナー。家でも遊びたいのでシロアリが欲しいと言いつつも！



森林総研ブース前、たくさんの来客でにぎわいました。



実際に測定器で公園内の樹木の高さを測ってもらいました。

◎ **講演会「森林整備と地域材利用の現状と展望－マスコミの視点－」が開催される**

「森林整備と地域材利用の現状と展望－マスコミの視点－」と題して、標記の講演会が6月17日当所の大会議室で開催されました。

森林総合研究所では、スギ等地域材の需要拡大と有効利用を図るために、安全で安心できる快適な居住環境を創出する技術の開発、そして木質残廃材のエネルギー転換・利用技術、さらには有用木質原料への転換技術の開発等に関する研究を積極的に推進して行く必要があると考えています。この実現に向けて、講演会では林業新聞社代表取締役社長成田利典氏と、日刊木材新聞社企画部長石山幸男氏をお招きして、地域材利用の課題をマスコミの視点から多角的（林野行政、財政的支援、消費者サイド）に問題提起していただきました。当日は約80名もの方の参加を得て、講演会終了時刻を過ぎても様々なご意見やご質問をいただき、活発な討論を行いました。

